

動物ことわざ文字合わせ

1	犬も歩けば棒にあたる	読み方: いぬもあるけばぼうにあたる 意味: ①よけいなことをして災難(さいなん)にあうこと ②とりあえず動き回れば幸運に出会うということ。
2	夫婦げんかは犬も食わない	読み方: ふうふげんかはいぬもくわない 意味: 夫婦げんかに他人は口出しせず、放っておけばすぐ仲直りするものだという事。
3	猫に小判	読み方: ねこにこばん 意味: 価値(かち)がわからない者に、貴重(きちょう)なものを与えるのは無意味だということ。
4	猿も木から落ちる	読み方: さるもきからおちる 意味: どんな名人も、時には失敗することがあるということ。
5	狐の嫁入り	読み方: きつねのよめいり 意味: ①狐火(きつねび) ②天気がいいのに雨が降る(ふる)こと。
6	取らぬ狸の皮算用	読み方: とらぬたぬきのかわざんよう 意味: まだ決まってもいないことをあてにして、計画を立てること。
7	豚に真珠	読み方: ぶたにしんじゅ 意味: 価値(かち)がわからない者に、貴重(きちょう)なものを与えるのは無意味だということ。
8	張り子の虎	読み方: はりこのとら 意味: 実力もないのにえらそうにしている人。
9	鬼の目にも涙	読み方: おにのめにもなみだ 意味: いつもはこわい人が、優しい感情を表すこと。
10	鬼に金棒	読み方: おににかなぼう 意味: もともと強い者が、さらに強化されるようなこと。
11	牛に引かれて善光寺参り	読み方: うしにひかれてぜんこうじまいり 意味: 人のさそいやぐうぜんに導(みちび)かれて、良い行いをするようになること。
12	馬の耳に念仏	読み方: うまのみみにねんぶつ 意味: 忠告(ちゅうこく)をしても、聞く耳を持たないこと。
13	天高く馬肥ゆる秋	読み方: てんたかくうまこゆるあき 意味: 気候のいい秋を表す言葉。
14	腐っても鯛	読み方: くさってもたい 意味: 本当に良いものは、たとえ少し悪くなってもそれなりの価値(かち)を保つということ。
15	鯛の頭も信心から	読み方: いわしのあたまもしんじんから 意味: 価値(かち)のないものもそれを信じている人にとっては尊い(とうとい)ものに思えるものだという事。
16	海老で鯛を釣る	読み方: えびでたいをつる 意味: わずかな元手で大きな利益(りえき)を得ようとする事。
17	逃がした魚は大きい	読み方: にがしたさかなはおおきい 意味: 手に入れかけてにがしたものは、実際(じっさい)よりも価値(かち)があるように思えるということ。
18	鯉の滝登り	読み方: こいのたきのぼり 意味: 急に立身出世(りっしんしゅっせ)すること。
19	鯖を読む	読み方: さばをよむ 意味: 都合よく数をごまかすこと。

20	まな板の鯉	読み方:まないたのこい 意味:相手のなすがままになること。
21	河童の川流れ	読み方:かっぱのかわながれ 意味:どんな名人でも、時には失敗することがあるということ。
22	亀の甲より年の功	読み方:かめのこうよりとしのこう 意味:長い年月で身につけた知恵(ちえ)は尊い(とうい)ということ。
23	月とすっぽん	読み方:つきとすっぽん 意味:共通点があるが、とてもちがっているもの。
24	足元から鳥が立つ	読み方:あしもとからとりがたつ 意味:①身近なところで思いがけないことが起こること。②あわてて物事を始めること。
25	からすの行水	読み方:からすのぎょうずい 意味:入浴時間がとても短いこと。
26	鳩が豆鉄砲を食ったよう	読み方:はとがまめでつぶをくったよう 意味:おどろいてきょんとしている様子。
27	一富士二鷹三茄子	読み方:いちふじにたかさんなすび 意味:初夢(はつゆめ)に見るとえんぎがいいと言われているもの。一番が富士山、二番がタカ、三番がナス。
28	鳶が鷹を生む	読み方:とんびがたかをうむ 意味:平凡(へいぼん)な親から優れた(すぐれた)子供が生まれること。
29	能ある鷹は爪を隠す	読み方:のうあるたかはつめをかくす 意味:優れた(すぐれた)力を持つ者はそれをむやみに見せびらかしたりしないものだということ。
30	鶴は千年、亀は万年	読み方:つるはせんねん、かめはまんねん 意味:長生きでめでたいこと。
31	雉も鳴かずば撃たれまい	読み方:きじもなかずばうたれまい 意味:余計(よけい)なことを言ったせいで災難(さいなん)にあうこと。
32	雀百まで踊り忘れず	読み方:すずめひゃくまでおどりわすれず 意味:幼い(おさない)ころに身につけたことは一生忘れない(わすれない)ということ。
33	蛇に睨まれた蛙	読み方:へびににらまれたかえる 意味:こわいもの、苦手なものに直面し、身がすくんで動けない様子。
34	飛んで火にいる夏の虫	読み方:とんでひにいるなつのむし 意味:自分から災難(さいなん)の中へ飛びこむ様子。
35	泣きっ面に蜂	読み方:なきつつらにはち 意味:悪いことの上に、さらに悪いことが起こること。
36	腹の虫がおさまらない	読み方:はらのむしがおさまらない 意味:腹(はら)が立ってがまんができないこと。
37	蛙の面に水	読み方:かえるのつらにみず 意味:まったく動じないこと。
38	猫の手も借りたい	読み方:ねこのてもかりたい 意味:とてもいそがしくいくらでも人手がほしいこと。
39	今泣いたからすがもう笑う	読み方:いまないたからすがもうわらう 意味:今まで泣いていたのに、もうきげんを直して笑っていること。